

特集

病院機能評価の新体系

ケアプロセスの評価を看護に活かす

日本医療機能評価機構の「病院機能評価」では、2013年4月から新しい評価体系（機能種別版評価項目 3rdG：ver.1.0）による審査を開始した。この新評価体系では、5つの機能種別の設定や評価項目数の削減などのほか、患者の視点に立った医療の実践を評価するため、ケアプロセス評価として「症例トレース型」の手法を採用していることも大きな特徴である。本特集では、新評価体系を受け身でなく自院の看護の質向上に向けて活用することを目指し、改定のポイントや審査の実際について紹介する。

病院機能評価の新評価体系のねらいと意義 ●宮本恒彦

症例トレース型ケアプロセス評価の実際とは？

受審準備はどうすれば？ ●神保勝也

看護の立場から見たケアプロセス評価の意義 ●武村雪絵

新評価体系による受審を経験した病院から

ケアプロセス評価を中心に ●森三枝子／古田昌子／宮城とも

巻頭

うちの師長会・主任会② 三井記念病院看護部

特別記事

米国におけるシミュレーション看護教育の実際 ●Pamela R. Jeffries

大学が主催する新人看護職員の「社会化」支援② ●大野夏代

編集後記

▶装いも新たにお届けした1月号、特集ではファシリテーションを取り上げました。「対話の大切さ」と言葉で書いてしまうと簡単ですが、多忙をきわめる看護マネジメントの現場においては、わかっていても時間が取れないジレンマがあるのかもしれません。座談会では appreciate（感謝する、価値を認め合う）の大切さが述べられました。好評をいただきました昨年9月号のポジティブ・マネジメント特集でもキーワードとなった言葉です。じっくり対話する時間が取れなくても、お互いに認め合う気持ちをもつことで、流れる空気が変わってくるのかもしれません。▶2014年が、読者の皆さまにとりまして、幸せ多き1年でありますようにお祈り申し上げます。読者の皆さまあつての雑誌です！本年もご愛読ください。（小齋）

▶本号から、巻頭シリーズ「うちの師長会・主任会」、連載「看護事故の舞台裏」が始まりました。師長会・主任会はまさに対話の場、また、医療事故の多くはコミュニケーションエラーから引き起こされます。ファシリタティブな管理者によって対話の土壌が構築されることで、日常のコミュニケーションも円滑になるはず。あらゆる活動に通底する「対話」というトピックには、今後とも注目していきたいと思っています。▶2013年に観た映画の本数を数えてみたところ、108本という暗示的な数でした。除夜の鐘のごとく、1本観るたびに煩惱が祓われていったと信じたいところです。大幅リニューアルした弊誌のように、新たな気持ちで本年も皆様に価値ある誌面を提供したいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。（笹山）

看護管理 第24巻第1号

2014年1月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2014, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2014年年間購読料

冊子版 18000円

冊子＋電子版／個人 21000円

冊子＋電子版／共有 23700円

電子版／個人 18000円

電子版／共有 20700円

（いずれも税込、送料弊社負担）

*上記は2014年3月までにご注文いただいた場合の年間購読料です（2014年3月ご購読開始分まで適用）。

『看護管理』編集室（担当：小齋、笹山、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

【年間購読のお申し込み先】

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、（株）医学書院が保有します。

【JCOPY】（（株）出版者著作権管理機構委託出版物）本誌を無断で複製する行為（複製、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。複製される場合は、そのつど事前に（株）出版者著作権管理機構（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された [0917-1355/14/¥250/論文/JCOPY] は、1論文1回複製につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いします。

facebook始めました!

アカウントをお持ちの方は「看護管理」で検索していただき、「いいね!」をよろしく願いいたします。

http://www.facebook.com/kangokanri1991

●twitter アカウントは、@kangokanri です。あわせてフォローをお願いいたします。